

《ピリカ全国実行委員会とは》

「アイヌ解放同盟」と「アイヌ・モシリの自治区を取り戻す会」の活動を継承し、1996年2月3日札幌で、「北方領土の日」反対！「アイヌ新法」実現！アイヌ民族連帯を掲げ、ピリカ全国実行委員会が結成されました。

アイヌ民族自身から始まった活動は、日本人の問題であることを提起し、我々が押し付けている問題であることを自覚し自分自身の闘いとして、アイヌ民族、沖縄（琉球）人民、日本の労働者 人民が連帯してピリカ全国実活動しています。

《主な取り組み》

### \*北海道大学 人骨事件の真相究明\*

1995年、北大文学部 古河講堂から6人分の頭蓋骨がアイヌ民族によって発見されました。私たちは、これらの人骨の存在が「北大＝アイヌモシリ侵略拠点」であることを証明するものとして広く訴え、それら人骨の返還に努力してきました。朝鮮人の朴仲辰の頭骨は96年5月に韓国へ、ウィルタ民族3体は03年8月にサハリンへ、各々返還できました。

07年7月26日、北大文学部でのイチャルパと大乘寺（札幌豊平区）での供養祭が行われ、残る2体の遺骨が大乘寺に仮安置されました。「真相を究明する会」は当日、北大調査委員会 栗生澤猛夫 委員長と真相究明のための調査続行、話し合いの継続、毎年のイチャルパの実施を再度確認しました。しかし、08年1月以来今日まで北大は「真相を究明する会」の話し合いの申し入れを拒否し、7月26日に行われる残る2体の遺骨のイチャルパもおざなりなものにしてきました。幕引をはかる北大にみなさんの抗議の声を集中してください。

### \*真のアイヌ民族法制定をめざして\*

08年6月6日「アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議」が国会で採択され、「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会」が設置されましたが、**民族自決権・先住権を棚上げにし、土地の返還や過去（侵略支配）の補償には踏み込まない**としています。この姿勢は、文化の振興だけにきりこぎめた現在の「アイヌ文化振興法」と同様です。いまこそ私達はアイヌ民族が強く要求している**自決権・先住**

**権に基づく真の「アイヌ民族法」実現**のために闘います。

《川村シンリツ エオリパック アイヌさんの活動》

1972年設立の旭川アイヌ協議会 会長。旭川は、「北海道旧土人保護法」（1899年制定）とは別の法律「旭川旧土人保護地処分法」などで、支配、抑圧されてきた経過があります。土地をめぐる経過、闘いなどから独自の団体を結成しました。旭川での悪質極まりない土地強奪を批判し、土地の返還を要求しています。

旭川アイヌ協議会は、先住民族であるアイヌ民族の集団的権利として先住権 自決権を根底に据えて天皇、政府に謝罪 賠償等の要求を出しています。

アイヌ民族の権利獲得は、アイヌ民族自身の運動と日本人民の共同の力で闘いとるものという思いから、各地で講演をし、歴史を話し、文化を伝えています。日本人は自らの歴史認識を変革する立場から独自の闘いが求められています。

### \*文化人類学者である河野本道のアイヌ民族差別糾弾\*

河野は、明治・大正期に当時も北海道庁警察部が作成した「土人衛生状態調査復命書」や、関場不二彦 著「あいぬ医事談」等6冊をアイヌ民族研究のための資料と称して1980年に復刊しました。

しかし この「資料」は、当時のアイヌ民族ひとりひとりの実名／年齢／居住地名／病名や健康状態などがそのまま掲載されている上、アイヌ民族は「衛生観念に劣る」「梅毒」はアイヌ民族「特有の」病気などと書かれた**差別図書**です。

差別図書『アイヌ史資料集』の回収と謝罪を求めてアイヌ民族が訴えた裁判は、最高裁で棄却され裁判としては終了しましたが、今後も河野本道が謝罪し回収するまで、大衆的な差別図書弾劾の運動の継続は重要です。引き続き全国のみなさんご支援をお願いします。また、放送大学は「**アイヌ民族自身による講義**」についての川村シンリツ エオリパック アイヌさんやピリカ全国実との再度の話し合いを拒否しています。みなさんご協力をお願いします。

### \*「北方領土の日」反対\*

ピリカ全国実活動は、アイヌ民族、沖縄（琉球）人民、日本の労働者 人民がそれぞれの立場をふまえ、北方諸島の日本国家への「返還」（併合）に反対する大衆的な運動団体です。日政府がアイヌ民族を無視して進める「北方領土」交渉の中止を要求しています。戦争国家時代の今日、民族排外主義があおられ領土拡張論がますます台頭しています。日本の労働者 人民は単一民族国家観と闘い、アイヌ民族は**じめ北方先住諸民族の先住権・自決権を支持**し、「返還」（併合）に反対する運動をさらに強化しなければなりません。

《ピリカ全国実行委員会山形グループ設立の理由》

私は5年前、北海道で3年間生活していましたが、アイヌ民族だと自ら名乗る人と出会い、話したことがありませんでした。川村シンリツ エオリパック アイヌさんが初めての出会いでした。それが私のこの活動のはじまりでした。なぜ、出会うことがなかったのか？その理由が少しずつ理解できてきて、自分の知らなかった歴史が今の自分につながっていることを知りました。自分の生活が知らぬ間に、アイヌ民族も沖縄の人も踏みつけていると感じます。

今回、上映のiomanteのDVDを観て、奪われた文化を取り戻す事の難しさを思いました。それを奪ってきたのが自分達の祖先であり、命も文化も奪ってきた侵略者であることを知ったから、私は自分の取るべき行動を考えていました。このDVDを見てもうひとつ感じたことは、今の私達もまた奪われているのだと思いました。仕事に忙殺され、他と繋がりにくい社会のなかで、『アイヌ ネノ アン アイヌ（人間らしい人間）』そんな心を失っています。競争社会のなかで、（他を殺さなければ自らが生きられない）そんな優勝劣敗の思想が自分のどこかに誰しもあるのではないかとその思想がアイヌ民族の墓を掘り起こし抹消しようとしてきた、そのことに気づいて初めて北大に千体もの頭骨があったことが本当のことなんだと飲み込めました。それまでは、なぜ墓を掘り起こして頭骨を集めるなんて趣味の悪いことをしたいのか理解できませんでした。

私は、まだまだ勉強不足です。でも、踏みつけているのに知らない素振りをしている今の日本の態度には、自分自身が耐えられません。すこしづつでも、共に考え行動する人を増やして、ピリカ全国実行委員会山形グループ設立を行い、活動します。ピリカ全国実行委員会山形グループへの参加、賛同、結集を心から訴えます。

2010年9月21日 前田麻子